

懇談内容

ひとり暮らし高齢者の対策を

● Aさん

ひとり暮らしの人はたくさんいる。冬場だけでも入れる施設が必要ではないか。

● 佐藤孝雄副議長

このことは何度も一般質問している。執行側は検討すると回答しているが、どこまで検討しているかは分からない。



● Bさん

独居老人は目先の問題。今から準備しておかないと遅くなってしまふ。

● 瀬谷一男議員

おとし、2週間続けて70cm位の積雪があった。その時、独居老人の問題があり、議会でも質問や提案はした。

● Cさん

ここ数年の夏の熱中症も同じ。冷暖房のあるところを集めた方が、村としても安心ではないか。

● 根本定雄議員

冬場だけでも集合生活ができないか、一般質問した。お金はかかるがいろいろ改革することで、そのお金は捻出されると思う。学校の跡地利用で活用することを考えていかなければと思っている。

● 阿部 清議員

議会でも十分に議論し、真剣に取り組み、議員が全会一致となれば即要望したい。

● Dさん

造るのは良いが、その後の問題もある。長年住



んでいた家を離れ、冬場だけとは言え、そこへは行かないと思う。造るなら十分検討すべき。

● Eさん

学校の利活用も大事だが、直したものは直したもののなりの使い勝手となる。造るなら壊して新しく造った方が良いと考える。



防災計画・防災マップいつできるの？

問

災害はいつ起きるか分からない。いつ、防災計画・防災マップができるのか。村民を集めての説明会は開催するのか。

回答

高橋七重議員
福島県地域防災計画をもとに、今年度中に作成される。東日本大震災の教訓を踏まえ、各地区の地元住民が集まった形で詳細の計画を立ててほしいと要望している。

回答

上遠野健之助議長
配付だけでなく、区会等で説明することは大事だと考えている。執行側からも前向きな回答を得ている。

回答

阿部 清議員
災害時の停電対策として、各行政区に発電機を設置するよう要望した。執行側は前向きな検討をしている。

道の駅の駐車場問題は？

問

平成30年12月に「道の駅駐車場拡張について」の一般質問が出されたが、その後どのようなようになったのか。

回答

佐藤孝雄副議長
執行側からは「必要である。今後検討する。」という返答は出されている。現在の駐車場は、車一台分のスペースが狭い、という高齢者や女性の方々からの声がある。渋滞緩和もしなければならぬと感じている。農業所得向上にもつながっている。有意義な駐車場にすべきであり、今後も議会では拡張の必要性を発信していきたい。

回答

高橋七重議員
定例会において反対はしたが、駐車場は必要ないとは思っていない。土地を提供してくださる方々等の事情を踏まえ進め

回答

瀬谷一男議員
今年ユリが全滅した。ゆり園は土壌消毒し、駐車場の一部をゆり園にする。砂利の部分はそのまま駐車場で使用する。

ていくべきと考える。

回答

上遠野健之助議長
諸々の問題がある。コミュニケーションを取りながら一から出直すべき。



ゆり園前の駐車場は？

問

ゆり園前の砂利の駐車場は、今度どのような計画があるのか。あのままの状態か。

回答

瀬谷一男議員
今年ユリが全滅した。ゆり園は土壌消毒し、駐車場の一部をゆり園にする。砂利の部分はそのまま駐車場で使用する。

民間賃貸住宅への補助金評価は？

問 民間事業者に対する補助金は珍しい。どのように評価するのか。

回答 瀬谷一男議員
公営で造るものよりも、若者が好んで入りたいと思う住宅に仕上がっている。良い制度と考える。

小中学校のいじめは？

問 平成30年12月に「小中学校におけるいじめは」の一般質問が出されたが、現状はどのようなになっているのか。

回答 永瀬成元議員
「いじめによる不登校は」と質問したのだが、「いない」との回答を得ている。いじめではなく個人的なことでの不登校はあるかもしれない。

議員視察研修について

問 平田村に取り入れられることを研修をしてきてほしい。

回答 瀬谷一男議員
かつて、富山県の学校廃校利用を視察した。その結果が、現在の役場庁舎移転で旧永田小学校を活用したことにつながった。

今回は、山形県で農業法人を視察した。すぐに実践できるかという点では難しいが、今後役に立つ研修であった。

提案1 ◎若者定住特区の構想を！
学校の校庭を提供し、若者定住のための特区を造ってはどうか。

提案2 ◎キャンプ場を！
上北方五反田のグラウンドには休日、バイクで来てキャンプをしている人たちがいる。

意見

◎こども園の充実を！
・早朝から見てもらえる
と勤めている人は助かる。
・他とは違う独自性を。

◎健康寿命対策に助成を！

スカットボールや囲碁ボール等、ニュースポーツの用具への助成をお願いしたい。ニュースポーツは、県でも健康寿命対策として後押ししている事業の一つ。各行政区に一台は欲しい。



村執行側に確認したところ、次のような回答をいただきました。
(令和元年10月28日現在)

問 防災計画・防災マップいつできるの？

回答

令和2年3月に完成予定。現在、改定作業を進めております。進捗状況は、おおむね7割です。
令和2年1月から2月

にかけて、農業構造改善センターと林業研修会館の2か所で住民説明会を開催する予定です。

問 旧乙空釜分校の解体は？

回答 今年度内に解体が終了します。

要望 ◎ホームページへの書き込みサイトを！
今日の懇談会に集まった人は高齢者ばかり。若い人は村に魅力がないと感じているのだと思う。若者の意見を聞くような場を設けないと、若者が定住しない。

回答 検討します。

SNSはその使い勝手や情報拡散力に優れていることから、最近は多くの自治体で利用されています。

しかし、書き込まれたコメントが誤情報だったり、権利侵害・不適切な発言等であったりするリスクも心配されます。さらに、自治体では情報を外部に発信する場合、事務処理上、瞬時に掲載することが難しい状況です。

なお、各種イベントの告知や災害情報の提供には有効であることから、村民への情報提供手段の一つとして活用することを検討します。

要望 ◎消防団の負担軽減を！
ホース掛けを設置したが、半額は村で、残りは消防団で負担した。村の消防活動に使用するもの。村負担にできないか。

回答 検討します。

バス利用者で、ご予約いただいたお客様を、蓬田新田前からシャトルバス等で送迎することについて検討します。

郡山駅からのバスの運行本数が少なく、第二次交通確保が大きな課題です。